



### 松井社長コメント

弊社においては、継続して取り組んできている非常に厳しい構造改革及び全従業員の協力と努力により、3期連続での営業黒字達成の見込みであります。

24年度協議において、『ステージ C・メイト社員の本給制度改定』及び『評価シートの見直し』に着手したことにより各ステージの役割と成果に基づく評価体系の整備が出来た事、賃金要求に応えられたことは大きな成果であります。

今後は、この整備された評価体系（制度改定含む）を如何にして精度を高くかつ適正な運用としていくかが重要であると捉えております。

その為には、制度改定に伴う説明会の実施などを含めた社内共有強化の徹底を図り、また同時に各人の働き方にもフォーカスし、業務の見直し及び効率化の実現を目指します。

併せて、VOICEなどで上がっている従業員からの様々な声にも可能な限り対応していき、より働きやすい会社・収益性の高い会社を目指して行きます。

### 磯原委員長コメント

- ・24年度協議は、社員ステージ C とメイト社員の本給制度改定及び評価シートの見直しに着手しました。これで各ステージ共に役割と成果に基づく体系が揃いました。
- ・今後については、適正かつ精度の高い運用が求められます。年度末から新年度にかけて、改めて制度説明の徹底を社内にて行って頂きたいと思っております。
- ・メンバーズ VOICE の意見にもありましたが、
  - ①本給制度については、移行時の丁寧な説明と就いた役割給についての説明、
  - ②評価シートについては、記入方法の説明を、評価者・被評価者双方に説明をお願いします。
- ・働き方については、新年度早々に繁忙期を迎えるにあたり、事前に今一度各人の業務の見直し、効率化について考えるような指導を行って頂きたいと思っております。
- ・また、この数年、有給休暇の取得方法が複数、細かく設定されました。今一度、制度運用のルールの説明をする場を設けてただ来たいと思っております。
- ・25年度協議は、そのような運用面の徹底のベースとなる人事制度ガイダンスの策定や労働協約の精査に取り組んでいきたいと考えています。また、評価制度については、制度運用の確認と並行して、期待役割に準じた、特にメイト社員の評価シートのあり方については、検討に入りたいと考えています。